

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 17 日

事務事業名		学校振興事業					事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	020102000208	
総合計画の施策名		0201 学校教育の充実					単独/補助	単独	所属課	090101 学校教育課	
政策体系	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり							課長名	
	施策名	01	学校教育の充実							グループ	総務グループ
	手段名	02	②教育体制の充実							担当者名	
		財務会計上の位置付け					事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	10	02	02	00	00	単年度繰返し (平成17年度～)				
法令根拠							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	桜川市内小、中、義務教育学校の、教育振興に伴う必要な学校予算を積算し、より良い学校経営及び学級経営を目指して予算要求を行なう。また、速やかな予算執行管理をおこなう。児童生徒の学力向上、個に応じた指導の一層の充実を図り、教職員等に必要教育環境を整え、将来を担う子どもたちの育成に努める。 ※小学校・中学校・義務教育学校 3つの振興事業の合算。ただし、令和2～5年度については事務局費のうちコロナウイルス感染症対策にかかる修学旅行等負担金を計上。	児童数の把握、学級数の把握、教職員の配置把握、予算要求事務、予算執行事務、決算事務、契約関係 (見積書徴収・契約・支払事務)。 ※令和2～5年度は、コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、各学校における修学旅行や遠足を円滑に実施するため、補正予算によりキャンセル料やバス借上料等に助成を行った (コロナ交付金充当)。 ※事業費 (30年度) のその他 (5,000千円) は、雨引小限定での寄付金。 ※事業費 (令和2年度) のその他 (1,000千円) は、岩瀬小限定での寄付金。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
児童数の把握、学級数の把握、教職員の配置把握、予算要求事務、予算執行事務、決算事務、契約関係 (見積書徴収・契約・支払事務)。	小学校教育振興に伴う予算額	千円	2,450.00	23,045.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00
	中学校教育振興に伴う予算額	千円	4,000.00	3,719.00	20,000.00	4,000.00	4,000.00
	義務教育学校教育振興に伴う予算額	千円	1,397.00	4,404.00	7,000.00	4,500.00	4,500.00
	コロナ禍における修学旅行等助成に伴う予算額		412.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
小学校・中学校・義務教育学校	市内の学校数	校	13.00	13.00	10.00	10.00	10.00
	市内学校の学級数 (特別支援学級含む)	学級	131.00	129.00	130.00	130.00	130.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
教育振興に必要な予算を執行することで、児童生徒の学習意欲が向上し、教職員の指導方法改善を助ける。	教職員の指導方法改善が図られた学校数	校	13.00	13.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	13,237	31,171	34,450			
	事業費計 (A)	千円	13,237	31,171	34,450			
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	07 報償費	2,378				
	10 需用費	26,129				
	13 使用料及び賃借料	2,664				
	合計		31,171			34,450

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業記念品の購入、配付</li> <li>教科書指導書の購入、配付</li> <li>デジタル教科書の購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業記念品の購入、配付</li> <li>教科書指導書の購入、配付</li> <li>デジタル教科書の購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業記念品の購入、配付</li> <li>教科書指導書の購入、配付</li> <li>デジタル教科書の購入</li> </ul>

事務事業名	学校振興事業	事務事業No.	20102000208	所属課	学校教育課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 学校に配分する予算とは別に、学校教育課で一括管理する振興事業関連予算について、合併前より引き続き実施してきた。また、令和2～5年度は、コロナ禍において感染症対策をしながら校外活動を円滑に実施するため、キャンセル料やバス借上料等に助成を行った。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 教育予算の増額について、校長会や教職員組合などからの要望がある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目		
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	小、中、義務教育学校の教育振興に必要な予算管理を行うことができ、教育環境の充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	教育環境を整え、児童・生徒の学習意欲、教職員の指導方法改善を助ける支援は市の責務であり、将来を担う子どもたちの育成に必要である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	教育振興予算を計上することにより、児童・生徒の学習意欲、教職員の指導方法改善を推進することで、学校現場での成果向上が期待できる。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	教育環境を整え、児童・生徒の学習意欲、教職員の指導方法改善を助ける支援を行うことができなくなり、学校現場での成果向上が期待できなくなる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) ) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない	他に類似事業はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない	最小限の予算で行っている。国・県の教育指導方針や学習指導要領等の改訂に伴い事業費増になる場合もある。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	児童・生徒の学習意欲、教職員の指導方法改善を助ける上で、教育振興に必要な予算を整えることを目的としているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 学校の予算科目や予算配分の均衡を図るため、市財政課と前年度の課題を踏まえ協議して効率化を進めており、令和3年度予算から一部の科目を見直した。令和2～5年度は、市がコロナ感染症による修学旅行等への費用増加分を負担し、保護者の経済的負担の軽減を図った。小学校指導書を購入について令和5年度に債務負担行為を設定し契約を行った。																	
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持	維持		○	×	低下	×	×	×
成果	向上	コスト																	
		削減	維持	増加															
維持	維持		○	×															
	低下	×	×	×															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 小中義務教育学校の教育振興に統合したことにより必要な予算管理ができ、教育環境の充実に結びついているため、継続して管理を行う。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ④																	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認
---	---